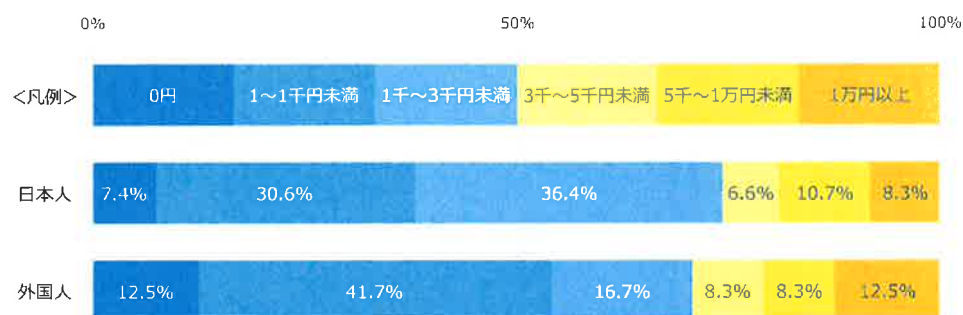


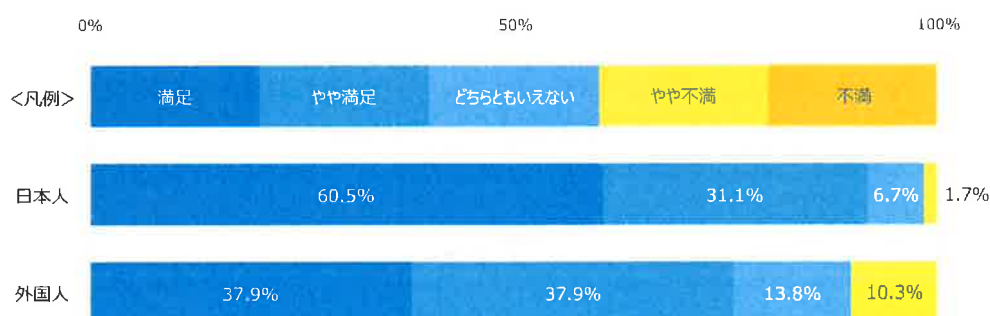
⑦-3. 飲食代

日本人の回答では、「1千～3千円未満(36.4%)」が最も高く、次いで「1～1千円未満(30.6%)」となりました。外国人の回答では、「1～1千円未満(41.7%)」が最も高く、次いで「1千～3千円未満(16.7%)」となりました。



⑧満足度

「今回の渡嘉敷島の滞在における満足度かどうか。」という設問に対して、日本人の回答は満足傾向9割、外国人の満足傾向が8割という結果となり、総合評価として高い満足度を示しました。



2-4. 渡嘉敷村の観光課題の整理

(1) 自然環境保全への対応

平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の国立公園に指定されました。さらに、平成 28 年には、国立公園満喫プロジェクトに選定されたことから、今後ますます観光客の増加が見込まれ、それに伴って環境への負荷がより一層増加する可能性があります。このような状況の中、渡嘉敷村の素晴らしい自然を未来に繋いでいくため、村民だけでなく観光客も、責任を持って自然環境を守っていけるような取組みを進めていく必要があります。

(2) 受入体制整備

国立公園の指定に伴い、近年観光客数が増加傾向にある中、それらを全て受入られるだけの体制がいまだ不十分な状態であり、来島した観光客を十分に満足させることができていない状況です。特に増加傾向にある外国人観光客に対しては言葉の壁やコミュニケーション不足による様々な問題が発生しており、適切な対応を行っていく必要があります。

また、一度訪れた観光客がリピートしたくなるような観光地にするためには、受入体制の質を上げ、滞在中の満足度を上げていくことが大切です。

(3) 観光協会の設立

本村では、産業の中心が観光と密接に関わっていながら、これまで具体的な観光計画が設定されていなかったために、観光に関する取組み内容が曖昧な状況となっていたと同時に、様々なロスが生じていた可能性があります。そこで、本計画を策定することで、より機能的に取組みを実行しやすい体制にしていけることが大切です。

また、村内産業の活性化につながる地域文化の振興等、活力ある村の形成を目指し、村民生活の向上に寄与することを目的とした情報発信を継続的かつ戦略的に実施するため、それらを統括し推進していく組織として観光協会を設立する必要があります。

(4) 冬期の観光メニューの造成

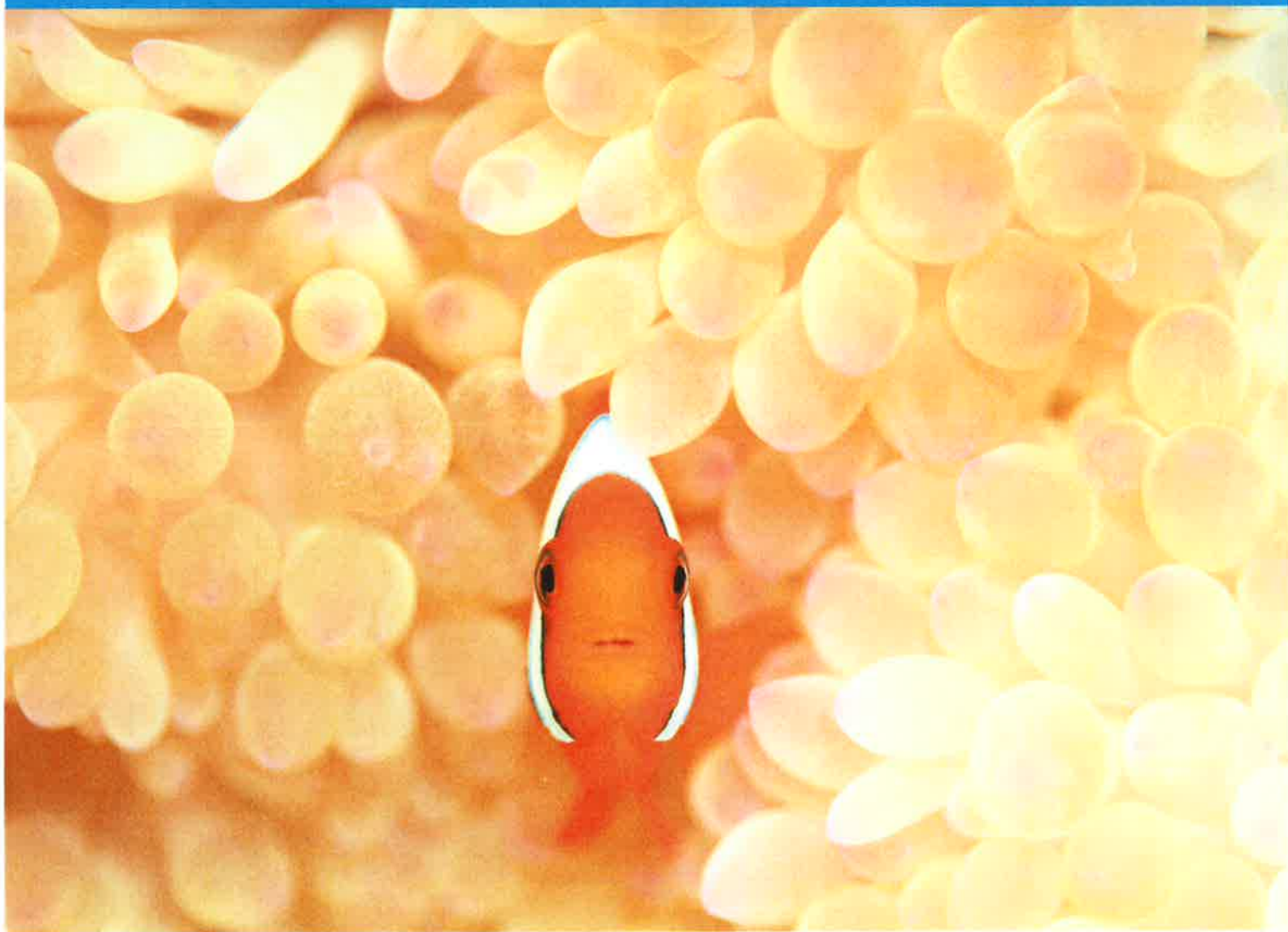
本村では、夏期（オンシーズン）にマリナクティビティを中心とした観光レジャーを満喫するため、多くの観光客が来島し、6 月から 9 月にかけての入域者数は年間入域者数の半数以上を占めています。しかしながら、冬期（オフシーズン）は観光メニューの不足や情報発信不足もあり、入域者数は最も入域者が多い月の約 12% となっています。このような季節毎の差を減らし、年間を通して入域者数の平準化を図るため、冬期に観光客を呼び込む施策を講じ、観光事業の活性化を促進していくことが重要です。以上のことから、冬期に渡嘉敷村らしく競争力のある観光メニューを構築し、また、それに伴った明確な PR を実施していく必要があります。

（５）外国人観光客の誘客

現在の主要市場である国内観光客増加への取組みは、国内人口の減少などにより沖縄県全体としても厳しい状況を迎えつつあります。このため、国内観光客の一定数の誘客は維持できるよう取組む必要があるが、伸び率が著しい外国人の観光客もターゲットに見据えて呼び込むことで、それらを補い、観光産業の安定化を図ることが一つの方策といえます。

しかしながら、海外の観光地（特に沖縄と競合するアジア太平洋地域における観光地）においても積極的に観光振興が進められており、それらに対抗し、選ばれる観光地になるよう適切な取組みを行っていく必要があります。

3 章 渡嘉敷村観光振興計画



3章 渡嘉敷村観光振興計画

3-1. 基本理念

本村は、世界に誇れるサンゴ礁を有するなど貴重な海と豊かな緑といった美しい自然環境に恵まれ、離島という特異な生態系や連綿と伝わる文化、固有の歴史等、様々な地域資源があります。これらが認められ、平成26年3月に国立公園に指定されました。

地域資源は、先人が守り伝えてきた財産であり、村民はそれらを観光資源として活用されてきました。

本村の特性を活かした観光振興を展開していくためには、観光メニューを構築するだけでは難しく、村民一人ひとりの協力が必要となります。村民が村を好きになり、島での暮らしに誇りを持ち、自然を大切にしていきたいと思える人づくりを目指して、本計画の基本理念を次のとおり表現しています。

基 本 理 念

心ふるえる夢島 とかしき ～ この碧を100年先に結ぐ ～

とかしきが有する豊かな地域資源、
碧く輝く海、緑溢れる山、
先人たちが歩んだ歴史、素晴らしい文化。

それらには、人の心をゆさぶり、
心をふるわせるような魅力があります。

そんなとかしきの魅力を、
住民も観光客も一緒になって、100年先に結いでいきます。

とかしきは、
自然を大切に守り活かす場所。
一度訪れた人がまた来たくなる島時間が漂う場所。
誰もが大切に想い、心が満たされ愛着のある夢のような場所。

そんな「心ふるえる夢島」であり続けます。

3-2. 基本方針

基本理念に基づいて、展開していく基本方針を次のとおり整理します。

基本方針1 自然との共生を目指した環境づくり【自然環境保全・活用】

渡嘉敷村の最大の資源である豊かな自然環境を守り・活かしながら、観光に寄与する取り組みを進めます。

基本方針2 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり【観光客受入体制】

渡嘉敷村らしさを残しながら、観光客が快適に観光・滞在できるような受入体制を構築し、再来訪してもらえるような取り組みを進めます。

基本方針3 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり【観光コンテンツ】

渡嘉敷村の有する様々な地域資源を活用しながら、ヒト・モノ・コトをつなげ、年間通して楽しめる観光メニューを構築していきます。

基本方針4 渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり【地域ブランディング】

渡嘉敷村の立地環境・特性を活かして、地域としての価値を高めるブランドづくりを進めます。

基本方針5 渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施【誘客プロモーション】

渡嘉敷村の魅力を、広く効果的に伝えていくとともに、渡嘉敷村に訪れたいくなるようなプロモーション活動を進めます。

心ふるえる夢島 とかしき

～この^{あむ}碧を100年先に結ぐ～

- ① 自然との共生を目指した環境づくり
- ② 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり
- ③ 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり
- ④ 渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり
- ⑤ 渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施

3-3. 基本施策と取組みの体系

基本方針に基づき、今後展開していく施策と取組みの体系は以下のとおりとなります。

基本理念	基本方針	基本施策	具体的な取組み内容
心ふるえる夢島 とかしき この碧を100年先に結ぐ	1 自然との共生を目指した環境づくり 【自然環境保全・活用】	(1) 環境保全の推進	① 環境状況調査の実施と実施検討 ② 環境基準値の共有 ③ 環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討 ④ 環境協力税の妥当性の検討
		(2) エコツーリズムの推進	① 良質なエコツアープログラムの開発・実施 ② 渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み ③ 渡嘉敷村を考える会の開催実施
		(3) 環境美化の推進	① 美化運動の実施 ② 廃棄物の削減に向けた取組み
		(4) 外来種への対策	① 生態系維持に向けた取組み ② 害獣の駆除・捕獲に向けた取組み
	2 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり 【観光客受入体制】	(1) 観光客受入体制の整備	① 観光協会の設立 ② 質の高い観光案内の充実 ③ 外国人観光客への案内対応サポート支援 ④ 外国語対応への取組み ⑤ 飲食店連携に向けた取組み ⑥ 働く人材不足の解消に向けた取組み ⑦ 渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動
		(2) 利用環境向上に向けた基盤整備の充実	① 船内WiFi環境の整備検討 ② 島内WiFi環境の整備 ③ 案内標識の整備検討 ④ 交通安全看板等の整備検討 ⑤ 船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討 ⑥ 既存の観光・交流施設等の維持管理の推進
		(3) 各種予約システムの構築	① 船舶の予約サイトの改善 ② 宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築
		(4) 交通網の充実	① 適正な船舶の運用体制づくりの推進 ② 慶良間諸島の周遊航路の検討 ③ 島内周遊バス等の運用の検討
		(5) 避難対策の整備	① 避難場所の案内板の設置 ② 避難時の対応マニュアルの作成・配布
		(6) 非常時における対応	① 非常時の対応マニュアルの作成と周知
	3 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり 【観光コンテンツ】	(1) 観光メニューの創出	① 渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出 ② 観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討 ③ 観光ルートづくりの推進
	4 渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり 【地域ブランディング】	(1) 渡嘉敷村としてのブランディング	① 特産品の開発 ② 観光マナーの周知・徹底に向けた取組み ③ ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み ④ 地域ブランドの構築に向けた取組み
		(2) 慶良間諸島全体としてのブランディング	① 慶良間諸島全体での観光振興への取組み
	5 渡嘉敷村の魅力効果を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施 【誘客プロモーション】	(1) 情報発信の充実	① 村ホームページの改訂 ② SNSを活用した定期的な情報発信 ③ デジタルサイネージの設置
		(2) 誘客プロモーション活動の推進	① 修学旅行の誘致 ② 誘客イベントへの参加 ③ パンフレットやポスターの作成・配布 ④ デジタルコンテンツの制作検討
		(3) 交流活動の推進	① 他自治体との交流機会創出の検討

3－4．具体的な取組み内容

基本方針 1 自然環境保全・活用

自然との共生を目指した環境づくり

(1) 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

取組み①：環境状況調査の継続実施と実施検討

阿波連ビーチに関しては、現在沖縄県が実施している海水浴場の水質調査の継続を推進します。また、渡嘉志久ビーチに関しても、水質調査の実施検討を進めます。その他、必要と思われる環境状況調査の実施を検討し、環境省や各種専門家と協力して推進します。

取組み②：環境基準値の共有

沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の結果数値とともに、沖縄県が設定する環境基準値を村民及び観光関連事業者、観光関連団体等に共有します。また、必要に応じて、渡嘉敷村として目指すべき目標設定も検討します。

取組み③：環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討

環境負荷削減に向けて、産学官連携も行いながら、新技術や効果的な方策の活用など、様々な取組みの実施を検討します。また、国立沖縄青少年交流の家と連携し、青少年を含む村民向けに環境についての学習機会の提供や、国や県の取組む施策の活用に向けた検討を進めます。

取組み④：環境協力税の妥当性の検討

環境負荷の増加に伴い、現状の環境協力税の妥当性について改めて検討し、金額の増額を見極めます。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール*				行政 運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光 団体	事業者	村民
①環境状況調査の継続実施と実施検討	○			○	●			
②環境基準値の共有	○			○	●			
③環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討		○			●	○	○	○
④環境協力税の妥当性の検討			○		●			

*早期：急務な取組みや1～2年で行う取組み
 中期：3～4年で行う取組み
 長期：可能な範囲で5年以内に行う取組み
 継続：既に着手しているが、継続して実施する必要がある取組み
 （上記内容は、以降同様）

(2) エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくとともに、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思える取組みを進めます。なお、取組みにあたっては、慶良間地域エコツーリズム推進全体構想も考慮に入れながら、推進していくこととします。

取組み①：良質なエコツアープログラムの開発・実施

幼児から大人まで、渡嘉敷村の豊かな自然の魅力を体験してもらい、自然の大切さと尊さを学んでもらう良質なエコツアープログラムや体験活動プログラムの開発を行い、実施します。

また、将来的には、良質なエコツアープログラムの認定制度を設けるなど、より良いプログラムづくりに向けて検討を進めます。

取組み②：渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み

渡嘉敷村の最大の魅力である自然環境を持続可能な観光資源として活用するために、村民及び観光客が守るべきルールを設定するとともに、そのルールを周知・共有していきます。

取組み③：渡嘉敷村を考える会の開催実施

青少年を含む全ての村民や村内事業者を対象に、渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り、考える会を開催し、地元への愛着を持ち、守ってきたいという機運を高めていきます。

また、テーマに合わせて、関係する人材を集めて話し合う場の創出も検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政 運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光 団体	事業者	村民
①良質なエコツアープログラムの開発・実施	○				●		○	
②渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み			○		●	○	○	○
③渡嘉敷村を考える会の開催実施		○			●	○	○	○

(3) 環境美化の推進

渡嘉敷村は国立公園として、世界的にも誇りうる傑出した自然風景を有していることから、その価値や魅力に見合った環境づくりに向けた取組みを進めます。

取組み①：美化運動の実施

村民との協力により、定期的に行われる「ゼロのつく日」の美化清掃とともに、地元ボランティアによるビーチや集落など村内のごみ拾い（年に3回）や、企業などのボランティア活動の支援を実施し、村内美化を推進します。

また、村民のみならず観光客も一緒になって環境美化を心掛ける体制づくりのほか、拾ったごみを入れるごみ箱の設置やそれらを回収する仕組みづくりの検討を進めるなど、総合的な美化体制構築を目指します。

取組み②：廃棄物の削減に向けた取組み

正しいごみの分別方法を村民・事業者にも周知することで、リサイクルできる資源ごみを回収し、ごみの削減を目指します。

また、廃棄物になりえるものはなるべく村内に持ち込まないよう村民及び観光客に向けて協力を図ります。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①美化運動の実施	○			○	●	○	○	○
②廃棄物の削減に向けた取組み	○			○	●		○	○

(4) 外来種への対策

渡嘉敷村在来の様々な動植物を守るとともに、村内の農作物への被害を減らしていくため、外来種駆除に向けた対策を進めます。

取組み①：生態系維持に向けた取組み

外来種が在来種に大きく影響を与えていることから、渡嘉敷村本来の生態系を維持していくため、防除など必要な取組みを推進します。

また、今後さらなる被害を防ぐため、村民及び観光客に対して、外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有を図ります。

取組み②：害獣の駆除・捕獲に向けた取組み

渡嘉敷村内の農作物・在来種被害を減らすため、様々な仕掛けを講じていながら、猪等の害獣の駆除や捕獲に向けた取組みを進めます。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①生態系維持に向けた取組み	○			○	●			
②害獣の駆除・捕獲に向けた取組み	○			○	●			

基本方針2 観光客受入体制

快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり

(1) 観光客受入体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に、丁寧で質の高い受入体制を整備します。

取組み①：観光協会の設立

観光推進に向けて、観光窓口ともなる観光協会を設立し、年間を通じて観光の平準化を目指します。

また、渡嘉敷村の自然環境は観光財産でもあることから、観光協会は観光事業のみならず、環境保全についても積極的にかつ、主導的に進めていく役割を担います。

取組み②：質の高い観光案内の充実

観光客に渡嘉敷村の魅力をより深く知ってもらい、安全に楽しんでもらえるよう、知識とサービス精神を持った質の高い観光ガイドの育成を進めます。

観光ガイドの質的向上に向けて、体験活動の指導に関するノウハウを有する国立沖縄青少年交流の家や沖縄県コンベンションビューロー、その他関係機関と協力を図り、渡嘉敷村自然・歴史・文化講座等を実施するなど、より観光客に喜ばれる案内が行えるような取組みを進めます。

また、村民に対しても観光客を快く受入れる機運づくりとともに、村内の基本的な案内ができるよう、周知・共有を図っていきます。

取組み③：外国人観光客への案内対応サポート支援

渡嘉敷村内の観光関連事業者に対して、外国人対応が可能な体制構築に向けた支援と整備を進めます。

取組み④：外国語対応への取組み

観光客が最も多く集まる阿波連地区（旅行村）において、多言語案内所の設置検討と多言語対応可能な人材を採用し、外国人に対しての案内やルール厳守を徹底します。

取組み⑤：飲食店連携に向けた取組み

昼食難民等の発生防止に向けて飲食店の連携協力を図り、安定的にサービスの提供が行える取組みを進めます。

取組み⑥：働く人材不足の解消に向けた取組み

ホテルや民宿などの経営者の高齢化に伴う担い手や働く人材不足の解消に向けて、後継者育成や村内移住者の活用・マッチングを進めます。

また、必要に応じた外部からの人材確保に向けて、居住環境の整備充実を推進します。

取組み⑦：渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動

渡嘉敷村での ATM やクレジットカード等の各種サービスの整備状況を、来島前の観光客に理解してもらう周知活動を進めます。

また、将来的には、サービス向上を目指した各種サービス機能の整備と充実に向け、関係機関との調整を検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①観光協会の設立	○				●	○		
②質の高い観光案内の充実	○				●	○	○	
③外国人観光客への案内対応サポート支援	○			○	●		○	
④外国語対応への取組み	○			○	●			
⑤飲食店連携に向けた取組み	○			○	●	○	○	
⑥働く人材不足の解消に向けた取組み	○			○	●	○		
⑦渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動	○			○	●			

(2) 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではの WIFI 環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

取組み①：船内 WIFI 環境の整備検討

泊港から渡嘉敷港までの船内で快適にネットサービスが行えるよう、WIFI 環境の整備を検討します。

取組み②：島内 WIFI 環境の整備

阿波連地区の WIFI 環境の不十分さを解消し、快適で安定したネットサービスの提供を目指します。

取組み③：案内標識の整備検討

初めて訪れた観光客が迷うことなく、目的地にたどり着けるよう、多言語表記も含めた案内標識の整備検討を行います。

取組み④：交通安全看板等の整備検討

渡嘉敷村内の交通ルールを守ってもらえるよう、多言語表記も含めた交通安全看板等の整備を検討します。

取組み⑤：船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討

修学旅行生を受入れた際などに発生する大量荷物の運搬をより円滑に行えるよう、利便性向上に向けた検討を進めます。

取組み⑥：既存の観光・交流施設等の維持管理の推進

現状の観光・交流施設に対して、不備や破損等の有無の確認を定期的実施し、適正な施設の維持管理を推進します。また、必要に応じて、新規観光・交流施設の設置の検討も行います。

その他、民間施設の課題把握に努め、必要な対策を検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政 運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光 団体	事業者	村民
①船内WIFI環境の整備検討			○		●			
②島内WIFI環境の整備			○		●			
③案内標識の整備検討	○			○	●			
④交通安全看板等の整備検討			○		●			
⑤船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討			○		●		○	
⑥既存の観光・交流施設等の維持管理の推進	○			○	●			

(3) 各種予約システムの構築

渡嘉敷村に来島した際、最初の窓口となる船舶の予約サイトの改善と、宿泊・飲食店の予約サイト構築により、利便性の向上を目指します。

取組み①：船舶の予約サイトの改善

現在の船舶予約サイトを、より使いやすい仕様に改善し、利用者がストレスなく使えるサイトへのリニューアルを目指します。

取組み②：宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築

渡嘉敷村内の宿泊施設や飲食店等の情報を整理し、総合的な窓口予約サイトの構築を検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①船舶の予約サイトの改善	○			○	●			
②宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築	○			○	●	○	○	

(4) 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

取組み①：適正な船舶の運用体制づくりの推進

今後の渡嘉敷島の適正な観光客数を議論したうえで、必要に応じた運用体制の構築を進めます。

取組み②：慶良間諸島の周遊航路の検討

観光客により楽しんでもらえるよう、渡嘉敷島から慶良間諸島の島々を周遊できる航路の検討を行います。

取組み③：島内周遊バスの運用の検討

島内にある展望台や観光名所を繋げ、島を巡って楽しめる周遊バスの運用を検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政 運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光 団体	事業者	村民
①適正な船舶の運用体制づくりの推進	○			○	●			
②慶良間諸島の周遊航路の検討			○		●			
③島内周遊バスの運用の検討			○		●			

(5) 避難対策の整備

地元住民だけでなく、観光客も、安全に避難できるように、案内板の設置やマニュアル作成等の避難対策を整えます。

取組み①：避難場所の案内板の設置

災害時に住民、観光客関係なく、誰もが安全に避難できるよう、避難場所の案内板を設置します。

取組み②：避難時の対応マニュアルの作成・配布

避難時の対応について簡単なマニュアルを作成し、船舶内や民宿等に設置します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①避難場所の案内板の設置	○			○	●			
②避難時の対応マニュアルの作成・配布	○			○	●		○	

(6) 非常時における対応

観光客の怪我や病気などの非常時に向けた対策を整えます。

取組み①：非常時の対応マニュアル作成と周知

観光客の怪我や急な病気の際に対応できるよう、マニュアルを作成するとともに、その周知を図ります。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①非常時の対応マニュアル作成と周知	○			○	●			

渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり

(1) 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

取組み①：渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出

年間を通じて、農林漁業と連携し、渡嘉敷村らしい自然・歴史・文化を感じながら、島民とふれあえる体験メニュー・プログラムを創出します。

また、渡嘉敷村の有する様々な観光施設の活用と、環境や平和についての教育的視点を含めた観光メニュー・プログラムづくりも検討します。

取組み②：観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討

村内観光誘客イベントの継続開催を進めるとともに、新たな客層を呼び込める観光イベントの企画を検討します。

取組み③：観光ルートづくりの推進

国立沖縄青少年交流の家をはじめ、観光・教育施設を活用しながら、渡嘉敷村内を巡って魅力ある地域性を楽しめる周遊観光ルートづくりのほか、慶良間諸島の島々と渡嘉敷島を繋げる広域観光ルートの構築を進めていきます。なお、必要に応じて、周遊観光ルート等のガイドマップの作成・配布も検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出	○			○	●	○	○	
②観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討	○			○	●	○		
③観光ルートづくりの推進	○				●		○	

基本方針4 地域ブランディング

渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり

(1) 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特有のお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

取組み①：特産品の開発

村内の特産物を活用した新たな特産品を開発を行います。

取組み②：観光マナーの周知・徹底に向けた取組み

観光客に対して、村民の生活の場でもある渡嘉敷村内集落への理解促進を図るとともに、美しく綺麗な島の風景を守るためマナーの周知・徹底に向けた取組みを図ります。

取組み③：ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み

ビーチでの遊泳やダイビング等の安全面の規制ルールの設定に向けた場づくりを行うとともに、観光客に対して、渡嘉敷村での事故ゼロを目指して、そのルールの周知・徹底に向けた取組みを図ります。

取組み④：地域ブランドの構築に向けた取組み

渡嘉敷村を特徴づけ、独自性のあるブランド構築に資する基本的なデザインルールの検討等の取組みを図っていきます。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①特産品の開発			○		●	○		
②観光マナーの周知・徹底に向けた取組み	○			○	●	○	○	○
③ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み	○			○	●	○	○	○
④地域ブランドの構築に向けた取組み		○			●			

(2) 慶良間諸島全体としてのブランディング

座間味村との連携を図り、慶良間諸島全体として共通のブランディングの方向性を定めています。

取組み①：慶良間諸島全体での観光振興への取組み

慶良間諸島国立公園のステップアッププログラム 2020 に基づき、座間味村と連携した取組みを進め、慶良間諸島全体のブランディングを図っていきます。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①慶良間諸島全体での観光振興への取組み			○		●			

基本方針5 誘客プロモーション

渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施

(1) 情報発信の充実

渡嘉敷村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

取組み①：村ホームページの改訂

渡嘉敷村の様々な魅力を伝えていくため、観光客の視点を意識した村のホームページの改善を目指します。

取組み②：SNSを活用した定期的な情報発信

Facebook や Instagram 等の SNS を活用して、渡嘉敷村の魅力を定期的に発信し、プロモーションを図っていきます。

取組み③：デジタルサイネージの設置

泊港のフェリー・高速船のチケット売り場などに、渡嘉敷村の日々の状況をはじめとする観光情報を掲示するデジタルサイネージを設置します。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光団体	事業者	村民
①村ホームページの改訂			○		●			
②SNSを活用した定期的な情報発信	○			○	●	○		
③デジタルサイネージの設置	○			○	●			

(2) 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博覧会等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

取組み①：修学旅行の誘致

修学旅行を呼び込むための営業活動を継続的に実施します。

取組み②：誘客イベントへの参加

渡嘉敷村の魅力が伝わり、誘客効果が期待できる観光関連イベントを吟味・選択し、そのイベントへの参加により、渡嘉敷村の観光誘客に向けたPRを実施します。

取組み③：パンフレットやポスターの作成・配布

村外での誘客プロモーション活動の実施に伴い、費用対効果を見極めながら、渡嘉敷村の魅力を発信できる有効で適正なパンフレットやポスターの活用を検討するとともに、必要に応じて作成・配布を行います。

取組み④：デジタルコンテンツの制作検討

SNSなど時代に合わせて、プロモーションに活用できる動画等のデジタルコンテンツの制作を検討します。

■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール				行政 運営	運営協力		
	早期	中期	長期	継続		観光 団体	事業者	村民
①修学旅行の誘致	○			○	●	○		
②誘客イベントへの参加	○			○	●	○		
③パンフレットやポスターの作成・配布	○			○	●			
④デジタルコンテンツの制作検討	○			○	●	○		